



当社では今後さらに加速するグローバル化の流れに対応すべく2005年にインド南部のトゥマクル（トムクール）市に現地法人 System Consultant Information India (P) Ltd. (以下 SCII) を設立しました。SCII はグローバルなシステム開発の拠点として、また、海外との業務において活躍できる人材を育成する為の研修施設として役割を備えています。

## インドで学べ！ 海外研修 事例

# ANAシステムズ 株式会社様

<http://www.anasystems.co.jp>



設立	2013年4月
資本金	8000万円
従業員数	959名
本社	東京都大田区羽田空港 三丁目5番10号

## 『グローバルなステージで業務遂行できる人財』の育成を！

### ■ IT研修を海外で

ANAシステムズ(株)様では、『グローバル人財育成プログラム』の一環として、また初の現地海外研修として、この度当社のインド研修にご参加いただきました。

今後さらに活発化すると予想される海外企業との連携を含む案件に対し、これまでの幅広い知識や経験を基に、国内での開発案件の時と同等に対応できる人材の育成を目的にされました。



SCII オフィス  
(研修施設)



### ■ インドで何を学ぶのか

単なる社員研修では海外で実施する意味はありません。ANAシステムズ(株)様では、今後オフショア開発をより成功裏に進めていく為には、国内での業務とのギャップ（仕事の進め方・考え方・生活習慣などの違い）を踏まえた上で、グローバルな環境においても円滑に業務を遂行できる人材が必要であると考えられました。

単に英語でドキュメントを作成するだけでなく、海外で様々なビジネスシーンで必要とされる英語表現を習得し、またそれを活用できる力。

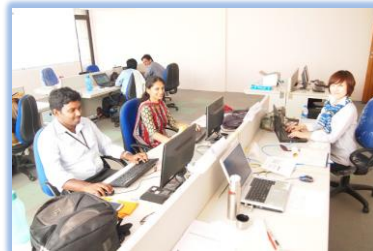
プロジェクトを進める中で不可欠となる英語で交渉できる力。これらを兼ね備えた人材への成長を目標とされました。

今回の研修では、よりシステム開発の実務に近い、実践的な内容をご用意して、これらの目標に向けて取り組んで頂きました。

### ■ インド人技術者との共同プロジェクトの推進・管理

研修はまず、様々なビジネス局面で必要となる英会話の復習から始まります。システム開発において必要となる英会話を習得して頂きます。

その後、インド技術者と共同プロジェクトを発足し、要件のレビュー、仕様書作成、開発、テストまでを全て英語で実施し、その過程で発生する様々な課題・問題に取り組んで頂きました。



### ■ 研修生の声 国際旅客システム部 女性

海外の方と仕事をする事、インドという土地、インド人との交流～私にとって全てが初体験でした。そのため先入観や偏見なく研修に臨んだつもりでしたが、「日本人だったらこうなのに」と、日本を基準に考えがちな自分に気がきました。

異なる文化・習慣を持つ相手と仕事をする際に日本の常識・先入観を排除することの大切さを実感しました。この教訓を活かし、自身の尺度ではなくグローバルな視点で物事を捉えられるようになりたいと考えています。

本件についてのお問合せは、必ず株式会社システムコンサルタントまでお願い致します



## ■研修の成果

各プロジェクトチームごとに直面する課題は様々でした。国内でのプロジェクトの進め方で通用した部分としない部分。また、品質や時間管理に対する考え方の違いなど。まさに共同プロジェクトを通じ、インド人技術者と直に接する事でしか味わうことができない経験でした。

今後のオフショア開発に向けて研修生の皆さんが各自挙げられていた目標や課題も、このプロジェクト体験を通じてクリアーして頂きました。

## ■研修事務局 ご担当者さまの声

当社では近年グローバル案件が増加している事を踏まえ、「グローバルなステージで業務遂行できる人材の育成」が急務となっております。そこで、直接的な業務経験とは別に、「学び・体験」を通して育成を図る機会として海外研修を企画しました。

研修委託先を選定するにあたっては、IT大国インドでの研修実績があり、且つ、研修に集中できる環境を持っている点に大きな魅力を感じました。何より、システム開発に対する認識や文化を体験させ、グローバルな環境で仕事を必要とする上で必要なスキルを身に付ける為の充実したカリキュラムを提示頂いた点が選定における一番の決め手になりました。

研修生には、この3週間で習得したスキルと経験をいち早く実務に生かし、世界をステージに活躍してもらう事を期待しています。



## ■研修生の声

運航・貨物・整備システム部 男性

渡印前は文化や価値観など、インドの詳しい情報を知り得ていませんでした。全てが英語でのやり取りということも不安材料の一つでした。しかし、3週間のインド研修を通して、外国人相手に流暢な英語でなくてもコミュニケーションがとれるようになり、英語に対する苦手意識払拭に役立ちました。

また、現地でオフショア開発を疑似体験し、失敗させないコツを直に習得する事ができました。停電や交通事情など環境面の違いには驚きましたが、異文化理解の重要性を学びました。今回の研修で学んだ事を忘れず、今後の業務や自身のスキルアップに役立てたいです。



ゲストハウス（施設内 宿泊施設）

## ■研修環境・生活環境・食生活

海外で研修生活を送るには安全、安心が不可欠です。トゥマクル（トムクール）市はベンガルール（バンガロール）市から約70Kmほどの距離にあります。気候も年間を通じて15度～35度と穏やかで過ごしやすい土地です。

当社の現地法人(SCII)施設には、研修施設と宿泊棟は同一の敷地内に設置されています。ガードマンによる24時間の監視体制も整備されていますので安心です。食事でも日本食をベースにご提供も可能です。また現地の病院との提携関係もありますので、健康面のサポートにつきましても安心してお過ごし頂けます。

本件についてのお問合せは、必ず弊システムコンサルタントまでお願い致します 内容、費用等お問合わせ先

**株式会社 システムコンサルタント**

第一営業部/国際・総合企画部

〒130-0013 東京都墨田区錦糸2-14-6

TEL 03-3829-4631 FAX 03-3829-4464

URL <http://www.ksc.co.jp/service/global/>

Mail [sales-info@ksc.co.jp](mailto:sales-info@ksc.co.jp)